



特集:

- 大使館発ニュー
スレター発行開
始 1
- ワガドゥグ危険
情報:領事より 2

最新ニュース:

- 広報文化
- 草の根人間の安
全保障無償資金
協力
- ブルキナファソの
不思議 3

その他

- 次号 KIBARE
 - 編集後記
- 4

在ブルキナファソ日本国大使館 松原公使参事官

大使館発ニュースレター発行開始

3月30日付けで在ブルキナファソ日本国大使館へ着任し、今般、公使参事官を拝命致しました松原英夫です。

本日第一号となる、在ブルキナファソ日本国大使館ニュースレター「KIBARE」（モシ語でinformationの意味）発刊に寄せ一言ご挨拶申し上げます。

人々の交流の進展と進化に伴い、現在約130万人を超える日本人の方々が、様々な目的で海外の国・地域に長期滞在し、また、年間約1700万人の方々が旅行や商用などの目的で海外を旅行しています。

日本の在外公館（大使館や総領事館など）は、外務省の出先であり、海外で生活される日本人の方々のカウンターパートとなる事務所です。在外公館では旅券事務、戸籍・国籍事務、証明書等の作成など、日本国内の市区町村役場と同様の日常業務を行い、例えば皆様のパスポートの作成業務、出生届や婚姻届の受理、日本国内や居住地国の手続きに必要な証明書の発行を行っており、このような点で日常的に在ブルキナファソ日本国大使館ではブルキナファソ

の日本の役場として在留邦人の皆様と常に密接なつながりがあります。

このような在留邦人の方々と連携を取り、行う業務を外務省では領事業務と呼んでおりますが、これら領事業務の中で、非日常的な業務であり、かつ在留邦人の皆様との関係で最も重要事項として位置づけているものが「邦人保護」です。

「邦人保護」は外務省、在外公館で最も重要となる業務であり、内戦、暴動、テロ、感染症対策等、緊急事態での対応が求められます。

私は20年以上昔、南イエメンでの内戦、中央アフリカでの暴動事件などで現地に残り残された邦人の救出活動に携わった経験がありますが、その当時は日本人そのものをターゲットとした事件はありませんでした。しかし、その後次々と発生した「アルジェリアの人質事件」、「シリアにおける邦人殺害テロ事件」、「チュニジアでの博物館襲撃事件」、「バングラデシュにおける襲撃事件」では日本人、日本の権益をも対象としていることが明確となり、外務本省では在留邦人や邦人旅行者の皆様の安全確保のための方策の策定が求

められ、在外公館では緊急事態発生時の即応が求められており、とりわけ領事担当者は在留邦人の皆様の安全を確保するため、日頃より外務本省とも連絡を取りつつ現地の安全情報を収集し、皆様に様々なメディアを通じ提供してきております。

ブルキナファソは既に皆様ご存じの通り、昨年1月にワガドゥグ市内においてテロ事件が発生していること、また、隣国マリにおけるイスラム過激派の活動もあり、在ブルキナファソ日本国大使館では在留邦人の皆様の安全確保のため、今次発刊する「KIBARE」により、タイムリーに大使館情報の提供を行って参ります。

今回発刊する大使館情報は、在留邦人の皆様の安全確保のための情報発信という基本方針を踏まえつつ、大使館で行っている広報、文化事業についても掲載させて頂き、安全と大使館の事業について広報させて頂きたいと考えておりますので、在留邦人の皆様のお知恵を拝借しながら、この「KIBARE」が良い情報誌となるよう工夫を凝らして参りたいと考えますので、宜しくお願い致します。

ワガドゥグ危険情報：領事より

その①：ワガドゥグの強盗グループ摘発報道から



ワガドゥグ捜査局提供：押収された物品

6月11日、ワガドゥグ捜査局長サンカラ警視は記者会見において、5月12日深夜に休暇中の武装警察官2人を襲い、警察官1名を射殺し逃走していた強盗グループメンバーの逮捕を発表しました。6人の強盗グループは既に1人が死亡、残り4人についても、会見後に逮捕されています。

犯行の手口は、高スピード・高排気量のオートバイに、拳銃、刃物で武装した2人が乗車し、夜間人気のない場所で、高価なオートバイに乗車する人からオートバイ、携帯電話、現金等を強奪するものです。犯人は相手の抵抗に応じて拳銃、刃

物を使い分けています。これは、逃走時に乗用車よりも小回りの利くオートバイを狙うもので、グループメンバー自身が運転に慣れていない乗用車への犯行は多くありません。当地には、このような路上強盗等の犯罪者集団が他にも複数存在します。

強奪されたオートバイは車台番号改ざんの後、市場に出されます。当地では中古のオートバイの需要が圧倒的に多い上、盗品等譲受人は、盗品を市場に流通させるための改造、関係書類偽造の技術を有しているため、盗品が見つかりにくいのも現状です。このように犯

罪者を支え、強奪した盗品等を流通させる基盤もできつつあります。

オートバイを利用される方は、深夜人気のない場所を避け、万が一、強盗の被害に遭った場合は、銃器、刃物等で武装した強盗犯への抵抗はしないようお願いします。

また、夜間、警備体制の薄い送金業者、小売店等に対する強盗も多発しています。ワガ2000地区の某小売店では、今年に入り3回深夜強盗に遭い、午後11時以降は店を閉めることとしました。犯人は、拳銃を所持した未成年2人組でしたが、未だ逮捕されていません。

その②オートバイの危険走行に注意



アクロバット走行するバイク

6月初旬、ヤルガド・ウエドラオゴ病院において、死亡した急患の近親者が、患者を死亡させた病院の対応に激昂し、暴力を振るったことから、同病院職員らのストライキを招き、ティエバ首相が事態の沈静化のため同病院を訪問したという事案を御承知の方は多いと思います。この事案で死亡した若者は、以前から問題となっている一般道におけるオートバイのアクロバット走行による被

害者です。当地では、一般道において、高性能オートバイをウィリーして走らせるなどの危険行為が頻繁に見られます。これらの危険行為をする者の多くは、自動車保険にも加入せず、高性能オートバイを見せびらかす上流階級の子供達です。警察による取締りは緩く、警察が来ても、危険な曲芸を見せびらかす場所を変えるだけです。

一般道における曲芸走行は、通行人に危害を与

える可能性が高い極めて悪質な行為であり、付近を通行することは大変危険です。

そのため、皆様にあっても、危険な行為を目撃された場合は、その道路を避けるなど十分に注意をしていただいたうえ、事故に巻き込まれることのないようにしていただくようお願いいたします。

広報・文化 = 日本政府奨学金 =

先月国費留学生の募集を開始して以来、多くの学生が当館を訪れます。相談内容は、奨学金の制度についての他、日本の大学、学生、授業、そして日本での生活についてなど多岐にわたります。ブルキナベにとって日本は未知の国。留学する上でも気になることが沢山あるでしょう。

ある日、また、一人の学生が相談に来ました。今回も同じような質問をされるのだらうと思って、聞いたところ、なんと彼が聞いたかったのは、パソコンの Word、Excel の使い方がよく分からないとのこと。応募書類は全てパソコン上での記入が必要ということもあり、彼にとっては死活問題だったに違いありません。30分以上のレクチャーの後、彼はほっとした様子でした。

しかし、大使館を去ろうとした矢先に突然大雨。パソコンを濡らしてダメにするわけにもいかず、彼はその場に待機。その後、あきらめて雨の中、大使館を去ったのでしょうか。パソコンがど

うなってしまったのか気になってしょうがありません。=留学制度について= 日本政府（文部科学省）奨学金として「研究留学生」、「学部留学生」、「高等専門学校留学生」、「教員留学生」が存在します。日本での留学を通じ、日本との架け橋となり、両国において世界の発展に貢献できるような人材を育成することを目的として、毎年ブルキナファソから数名が国費留学生として日本に渡っています。

うなってしまったのか気になってしょうがありません。

=留学制度について=

日本政府（文部科学省）奨学金として「研究留学生」、「学部留学生」、「高等専門学校留学生」、「教員留学生」が存在します。日本での留学を通じ、日本との架け橋となり、両国において世界の発展に貢献できるような人材を育成することを目的として、毎年ブルキナファソから数名が国費留学生として日本に渡っています。

Allons étudier au Japon!

2010年から2016年までに土木、情報、衛生、統計、教育などの分野で、ブルキナファソから合計13名が日本に留学しています。



草の根・人間の安全保障無償資金協力

みなさまこんにちは。

6月1日より、草の根・人間の安全保障無償資金協力外部委嘱員として着任しました松永朋子（まつながともこ）と申します。生まれは東京都、育ちは山口県宇部市です。

2016年1月まで、青年海外協力隊 2013年度1次隊、村落開発普及員とし

て、ワガドゥグから東に110キロのゾルゴ市にて、安全な水アクセスの確保、及び衛生状態改善のための活動を行い、今回1年半ぶりにブルキナファソに戻ってきました。今後はブルキナファソ国内を横断的に駆け回り、よりよい案件形成・実施管理・フォローアップに努める所存です。これまで

ブルキナファソの地方都市でしか生活したことがなく、ワガドゥグ暮らしに若干戸惑っています。

専門は開発人類学で、ブルキナファソの民族の暮らしに興味関心があります。面白いものを見かけた際には教えて下さい。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



現地職員と松永さん

■草の根・人間の安全保障無償資金協力

1,000万円を上限に、基礎生活（Basic Human Needs）分野及び人間の安全保障の観点から重要な分野（教育、保健、民生環境等）を優先的に支援しており、外交上のニーズを踏まえながら、草の根レベルに対する裨益効果が高い案件、小規模な支援によって特に高い援助効果を発揮する案件、人道上、機動的な支援が必要な案件等を中心に支援している事業です。



ギニアンペッパーの実
:一袋100CFA”

ブルキナファソの不思議:ギニアンペッパー

交差点の真ん中に、ヤギの頭、焼け焦げた草入りの割れた壺などを見たことがある方はいませんか。これは、自分の望みをかなえるため、これらのものに触れた人に災いをもたらす、その災いからまじないをかけた人に幸運をもたらすためのものだそうです。

今回ご紹介するのは、「ギニアンペッパー」。モシ語で Zoumbri

ズンブリと呼ばれ、西アフリカ原産の香ばしい香りを持つ調味料です。最近、日本の研究グループがこの実の科学的な効果を研究し、瘦身作用があることが発見され、注目を浴びています。痩せるための研究は、研究者たちを遠く離れたアフリカの小さな実にまでたどり着かせてしまうようです。

しかしながらこの小さな実、民

族によっては、実を撒かれた家に不幸や争いをもたらすとして知られているとのことで、今回あるおばあさんに実の説明を依頼した際、話したくないと断られてしまったほどでした。試しに同僚の執務室に黙って置いておいたところ、同日夕方彼に腹痛の症状が。さてみなさんは、瘦身効果を信じますか？魔力を信じますか？



Ambassade du Japon
Au Burkina Faso
01 BP 5560 Ouagadougou 01
Burkina Faso

TEL:
+226 25 37 65 81

FAX:
+226 25 37 65 81

次号 KIBARE について

○バカンス中の安全管理

長期不在となる邦人の方も多い季節。おうちの安全管理は大丈夫ですか？もう一度セキュリティについて見直してみましよう。

○ワガマダムへ〜献立のヒント〜 (予定)

村田料理人より、ワガで入手可能な食材を使った献立のご提案。和洋中なんでもござれの料理人が、簡単な料理のアイデアを提供。

○雨季における体調管理

暑くて湿っぽいこの時期は疲れもたまります。長い雨季を乗り切るための健康法、体調管理のアドバイスを医務官から。

編集後記

平成29年6月、大使館発ニュースレター「KIBARE」第1号の発行となりました。大使館での出来事、最新情報、館員や現地職員のご紹介、ラマダン期間中最も気になる治安情報などのお知らせも合わせながら、情報満載の紙面としていく予定です。

3月からめまぐるしく館内で起きている人事異

動により、大使館の雰囲気も少しずつ変わりつつある中、これまで以上に開かれた大使館をめざします。大使館＝お堅いイメージをお持ちかもしれませんが、意外と面白そう？とだけ思っていたら嬉しいです。

大使館ならではの視点でお伝えしてまいりますので、今後ともよろしくお祈りします。



＝編集者紹介＝

領事担当：青井健一

ひとこと：安全のための情報発信をしたいと思いますが、みなさん、情報提供をお願いします！

広報文化担当：吉次慶

ひとこと：みなさん、広報文化に関して、様々な情報を発信していきたいと思いますので、よろしくお祈りします。

開発協力担当：ドゥクレ理恵

ひとこと：当国の治安安全情報を中心に、大使館業務の紹介や役立つ話など盛りだくさんでお送り

今月のナイスショット



加藤書記官離任、関書記官着任